



第 20 回全国学校給食甲子園

—食育を創る我が校の学校給食—

開催要項



1. 主旨

全国の学校給食では、さまざまな食材を使用し、創意工夫した献立が出されています。学校給食は、食の文化、食の安全を守り育てる食育の現場であり、食の地域ブランドにも密接に関わっています。本大会は全国の学校給食で提供されている料理を競う大会を通じ、食育を啓発することを目的とします。そしてこの活動を通じて、地産地消と地域の活性化につながる事に貢献したいと考えています。

また、本大会が食育推進に役立てるとともに、給食に携わる栄養教諭、学校栄養職員や調理員の目標として励みになり、子供たちや学校の教職員全体に生きがいや活力を与える大会にしたいと考えます。育ち盛りの児童生徒の健全な食生活を考えながら、本大会を通じて多くの方々に学校給食の重要な役割を知っていただく機会にしたいと思います。

2. 概要

<大会期日> 2025 年 12 月 6 日(土)~7 日(日)

<応募テーマ> 食育を創る我が校の学校給食

*12 月 6 日(土) レセプション

*12 月 7 日(日) 午前・開会式、調理、午後・審査および成績発表と表彰式、閉会式

<会場> 女子栄養大学駒込キャンパス(東京都豊島区駒込 3-24-3)

KDDI ホール(表彰式、閉会式のみ)(東京都千代田区大手町 1-8-1)

<出場校> 北海道・東北、関東、甲信越・北陸、中部・近畿、中国・四国、九州・沖縄より

6 ブロックの 代表 12 校・施設

<出場選手> 各チーム栄養教諭または学校栄養職員、調理員計 2 名

<主催> 特定非営利活動法人 21 世紀構想研究会

<運営> 全国学校給食甲子園実行委員会

<実行委員長> 銭谷眞美(公益財団法人新国立劇場運営財団理事長)

<実行副委員長> 香川明夫(学校法人香川栄養学園理事長、女子栄養大学・
女子栄養大学短期大学部学長)

永野 博(公益社団法人日本工学アカデミー顧問)

<実行委員> 長島美保子(公益社団法人全国学校栄養士協議会会長)

長谷川芳樹(創英国際特許法律事務所所長)

小出 重幸(日本科学技術ジャーナリスト会議理事)

<事務局> 馬場鍊成(特定非営利活動法人 21 世紀構想研究会理事長)

峯島朋子(特定非営利活動法人 21 世紀構想研究会事務局長)

角南有加(特定非営利活動法人 21 世紀構想研究会事務局)

<後援>

文部科学省、農林水産省、厚生労働省、学校法人香川栄養学園、公益社団法人全国学校栄養士協議会、公益社団法人日本医師会、一般財団法人教職員生涯福祉財団、公益社団法人日本給食サービス協会、公益社団法人学校給食物資開発流通研究協会、

3. 募集、選考の方法

①募集

<期間> 2025年7月1日(火)～8月17日(日)

<大会公式ホームページ> <http://kyusyoku-kosien.net>

②選考

第一次選考(書類審査)全応募献立から文部科学省の主に学校給食摂取基準を重点的に見ながら学校(施設)を選定します。

第二次選考(書類審査)47都道府県から各1校、合計47校(施設)を選定します。

第三次選考(書類審査)47都道府県を6ブロックに分割し、第二次選考を通過した47校(施設)から各ブロック4校、合計24校(施設)を選定します。

第四次選考(書類審査)第三次選考を通過した24校(施設)から各ブロック2校、合計12の代表校(施設)を選定します。

4. 選考基準

- (1) 献立は決勝大会実施日までに学校給食として提供したことがあるもの。なお1食分を1日で提供した献立に限る。複数日に跨って単品を組み合わせた献立は不可。
- (2) 文部科学省学校給食摂取基準に準じていること。
- (3) 栄養量や分量(小学生対象の場合は中学年用の分量)が適正であること。
- (4) 調理過程・衛生管理は学校給食衛生管理基準(学校給食法第9条)に従うこと。
- (5) 食の文化を考え、食育の生きた教材として活用できる献立作成であること。
- (6) 出場者は2名(栄養教諭または学校栄養職員と調理員)とする。
- (7) 60分以内で6人分を調理、後片付けをすること(調理前の手洗い時間は含まない)
- (8) 応募用紙には献立の写真を添付。また関連資料があれば添付すること。
- (9) 過去、全国学校給食甲子園(R)において、都道府県代表以上に選ばれた献立や他の学校給食コンクールにおいていずれかの賞を得た献立の応募は禁止する。

5. 決勝大会

- 書類審査によって選定された全国 6 ブロックの代表 12 校(施設)の出場者が女子栄養大学(東京・女子栄養大学駒込キャンパス)にて応募した献立を実際に調理し、審査委員による調理過程・食味審査によって優勝、準優勝 1 校(施設)および入賞等を決定します。
- 食育授業コンテストについては、第三次審査を通過したブロック代表 24 人(栄養教諭・学校栄養職員)が原則出場する。やむを得ない事情がある先生は欠場となる。オンラインによるコンテストを開催し、その中から最優秀賞、優秀賞等を決定します。
- 決勝大会出場校(施設)には、2 名分の往復旅費、滞在費および食材料費を補助します。

全国学校給食甲子園事務局
〒106-0031
東京都港区西麻布 1-2-23-301
TEL:03-6447-5901 FAX03-6447-5902
Mail:info@kyusyoku-kosien.net
担当:峯島朋子 角南有加

学校給食甲子園を通した実績 文部科学大臣優秀教職員表彰「社会に開かれた教職員実践奨励賞」

文部科学省が 5 年前から実施している大臣表彰「社会に開かれた教職員実践奨励賞」に 21 世紀構想研究会が推薦した個人と組織で 5 年連続大臣表彰を受けました。

	教職員表彰	全国学校給食甲子園の表歴	教職員組織の表彰	全国学校給食甲子園の表歴
令和2年 (2020)	金永雅美 (新潟県新潟市立女池小学校・栄養教諭)	2017年第12回全国学校給食甲子園優秀賞	岡山県立倉敷まきび支援学校	2016年第11回全国学校給食甲子園優秀賞
令和3年 (2021)	平野朋子 (鹿児島県垂水市立垂水小学校・栄養教諭)	2019年第14回全国学校給食甲子園優秀賞	佐賀県佐賀市立富士中学校	2020年第15回全国学校給食甲子園21世紀構想研究会特別賞
令和4年 (2022)	佐田マキ (長崎県大村市立玖島中学校・栄養教諭)	2021年第16回全国学校給食甲子園21世紀構想研究会特別賞	静岡県立富士特別支援学校	2021年第16回全国学校給食甲子園優秀賞
令和5年 (2023)	保立貴博 (茨城県ひたちなか市立美乃浜学園・栄養教諭)	2021年第16回全国学校給食甲子園優勝	福井大学教育学部附属特別支援学校	2019年第14回全国学校給食甲子園21世紀構想研究会特別賞
令和6年 (2024)	黒田麻由 (岩手県遠野市立遠野北小学校・栄養教諭)	2023年第18回全国学校給食甲子園21世紀構想研究会特別賞	長崎県長崎大学教育学部附属小学校	2023年第18回全国学校給食甲子園優秀賞